

新春の高尾山薬王院&高尾山へ

開催日：2024年1月10日（水） 晴 やや健脚 歩数：1万6000歩 距離：9km

集合：京王高尾山口駅10時

コース：京王高尾山口駅→ケーブル清滝駅（標高201m）（ケーブルカー）→高尾山駅（標高472m）→1号路→浄心門→高尾山薬王院→5号路→もみじ台北巻道→高尾山（標高599m）（昼食）→3号路→富士道→仁王門下→1号路→浄心門→◆ケーブル組・ケーブル高尾山駅（ケーブルカー）→清滝駅◆リフト組・リフト山上駅（リフト）→山麓駅→京王高尾山口駅（ここまでプラチナコース）→国道20号→高尾駒木野庭園→旧甲州街道→大光寺→JR高尾駅南口・京王高尾駅

参加者：市村L 奥村SL 熊坂 斉藤 山田 岩元 内海 川合 風間 戸崎 飯倉 11人

1月6日が二十四節気の「小寒」で寒の入り、20日が大寒、2月3日の節分までが「寒の内」、1年で一番寒い時期です。この日は、前日より少し気温が上がり比較的暖かいウォーキング日和でした。「新春の参拝者で賑わう高尾山薬王院から高尾山山頂をめざします」と呼びかけましたが、参拝者はそれほど多くなく拍子抜け、成人の日の8日ぐらゐまでが参拝者で賑わっていたのかもしれませんが。それでも高尾山山頂は、いろいろなルートで上ってきた登山者で賑わっていて相変わらず人気の山、「東京のオアシス」だなと実感しました。

高尾山薬王院は「成田山新勝寺」や「川崎大師平間寺」と並んで真言宗智山派の三大本山、総本山は京都市東山区にある智積院（ちしゃくいん）です。薬王院はいつも通り過ぎるだけですが、「能登半島地震での被災者の救済と早期復旧、ウクライナや中東などでの戦火のない世界、健康で歩けること」を祈願しました。御護摩祈祷のためなのか僧侶の列が大本堂の前を通って中へ入って行くところに遭遇、山門の中を金網越しに覗いて大きな天狗の面の発見、サル園では「お山の家系図」があることを初めて知りました。ケーブルカー利用の「新春の高尾山薬王院&高尾山へ」ゆったりウォーキングでした。



京王高尾山口駅9時55分～ケーブル清滝駅10時15分～高尾山駅

新春の参拝者で賑わっているかと思っていましたが、京王高尾山口駅の乗降客はそれほど多くなく拍子抜けです。9時55分、参加者11人全員がそろったのでケーブル清滝駅へ移動。熊坂さんのリードでストレッチ、市村リーダーがコース説明。ケーブルカーは、最急勾配31度18分、ケーブルカーでは日本一の急勾配となっています。最大乗車135人、この日は100人弱ほどの乗車。10時15分に発車、左下の6号路を上って行く登山者が見えました。トンネルを抜けて下りケーブルカーとすれ違い、一気に急勾配を上り標高472mの高尾山駅に到着。1号路で上れば40分ほどかかるところを6分で上ってしまいました。



サル園前～たこ杉～浄心門～赤灯笼の参道～男坂～スギ苗奉納木板～山門

ケーブル高尾山駅から1号路を上り、サル園前へ。「お山の家系図」が展示されていて、スミ、モトコ、コユキなど人間の名前のようなものもあり、現在オス44頭、メス44頭の家族構成。サル園の横にサルのモニュメント発見、「何回も園前を歩いているのに初めて気がついた」の声。その隣に高さ37m、目通り幹回り6mのたこ杉がスクッと立っています。浄心門をくぐります。赤灯笼の参道を進み、男坂の石段を上ります。平坦な参道に出ると「スギ苗奉納」の芳名板が張り出されていました。風間さんが指さしているのは、拾萬本奉納の八王子市名誉市民で歌手北島三郎さんの芳名板。山門の前で集合写真を撮りました。



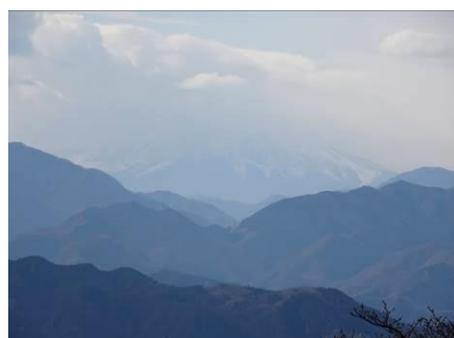
山門～六根清浄石車 大天狗と子天狗像～石段参道～仁王門～大本堂

山門をくぐると右手に、日々の生活で汚れてしまった六根（眼耳鼻舌心体）を、石車を回して清浄にする「六根清浄石車」がありました。その隣に大天狗と子天狗像が建っています。朱塗りの仁王門下の石段参道を上り大本堂で参拝、みなさんどんなことを祈願したのでしょうか。屋根に寺紋の三つ葉もみじ、庇下に小天狗の面が見えます。



本社～奥の院～1号路～5号路～もみじ台北巻道～11時37分高尾山山頂

時刻は11時、これから御護摩祈祷が行われるのでしょうか、僧侶が大本堂の前を中へ入って行きました。大本殿左の石段参道を上り、鳥居をくぐると極彩色鮮やかな本社。本社裏の長い石段を上り奥の院、石段の参道はこれにて終了。なだらかな1号路の上り道を歩き、山頂直下へ。ここから5号路を下りてもみじ台北巻きみちへ。朝の気温が零下1度でしたので「シモバシラ氷の花」が見られるかと期待していましたが、見えず終いでした。シモバシラは、高さは40～70cmのシソ科の多年草の植物。9月～10月上旬ごろまで小さい白い花を咲かせるのですが、寒気が強まると地中にある根はそのままに土から上の部分を枯らしてしまいます。すると毛細管現象によって地中の水分を吸い上げ、その水分が冷え込んだ外気に触れて結晶化してまるで花が咲いたように見えます。写真の「シモバシラ氷の花」は、2018年1月13日に撮影しました。「シモバシラ氷の花」は次回山行のお楽しみに。巻道に戻り山頂直下の石段を上り11時37分、高尾山山頂へ。大山から丹沢山系はクッキリと見えていましたが、富士山は山頂に雲がかかっていました。



集合写真 昼食タイム 12時25分～3号路～富士道～仁王門下～山門

山頂標柱を挟んで集合写真を撮影。案内板の写真によると、東から南にかけて東京スカイツリー、横浜ランドマークタワーが展望できるのですが、はっきりとは確認できませんでした。さて昼食、東屋の下は満席でしたので山頂端の低い石積みのところに席を確保してゆったり昼食タイム。12時25分に下山開始、3号路から富士道とゆるやかなルートで下りて有喜閣、客殿の脇の小径を通り仁王門下へ戻りました。御護摩受付所の前に懐かしい鑄鉄製円筒赤ポストがありました。境内に「高尾山の歌詞」の石碑があり、北島三郎の手形の上に手をかざすと歌が流れます。山門の中、金網越しに覗くと大きな天狗の面がありました。



山門～杉並木～ミヤマシキミ～ケーブル高尾山駅13時30分～清滝駅

山門を出て杉並木の参道を下って行きます。境内の参道に植えられた杉並木は参道下と合わせておよそ十数万本、巨樹は幹回り5・6m、高さ47mに達しています。女坂の道端に赤い実の花が、「ミヤマシキミ」の花だと教えてもらいました。有毒だそうです。浄心門をくぐり、サル園の前を通過してケーブル高尾山駅へ到着。ケーブル組とリフト組に分かれることに、ケーブル発車まで少し時間待ち、駅前で天狗焼きをお土産に購入。高台には展望レストランが見えます。13時30分発に乗車、ホームと車体の斜度が急です。降りた清滝駅には北島三郎のキンピカ像が、リフト組と合流して駅前広場でクールダウンをしました。



京王高尾山口駅～国道20号～落合橋～上栲田橋～高尾駒木野庭園

ケーブル清滝駅から京王高尾山口駅へ、ここまでがプラチナコースですが全員ウォーキング続行。時刻は13時55分、駅前のアスファルト道を背中が黒い鳥が足早にチョコチョコと走っていくのでパチリ。国道20号の甲州街道に出ると、トリックアート美術館があります。高尾駅方面へ進み、京王線高架下を通り案内川に架かる落合橋と小仏川に架かる上栲田（かみくぬぎだ）橋を渡り小仏川左岸へ。空が曇ってきて川風が冷たくなってきました。小道に入って高尾駒木野庭園へ、趣のある池泉回遊式庭園が広がっています。心字池の周りを散策して、木造2階建ての家屋の前でしばし談笑、ゆったりできる空間です。



旧甲州街道～国道20号～JR中央本線高架下～14時50分 大光寺

雪から木を守るための「雪吊り」が、2本の木にほどこされていました。その前で集合写真を1枚。柿の木や梅ノ木の盆栽、「柿の盆栽を始めて見たわ」「梅の花きれいね」などの声。正面玄関にまわると橙色のくちなしの花が咲いていました。正面入り口前の道が旧甲州街道、高尾駅方面へ歩いて国道20号を横切ります。JR中央本線高架下をって高い石積みの線路横の小径を歩き14時50分、大光寺へ到着しました。



大光寺～15時 JR高尾・京王高尾駅 歩数:1万6000歩 距離:9km

大光寺は真言宗智山派の寺院、境内に樹齢400年の大光寺御霊木しだれ桜と樹齢200年の江戸彼岸桜がひっそりと春を待っていました。内海さんが今春に「桜を訪ねてのんびり高尾散策」を企画、大光寺のしだれ桜もコースに入っています。大光寺を出て少し歩いたところの民家の庭に大きな背丈のパンパスグラスが見えました。京王線高尾駅の高架下を通り15時丁度、JR高尾・京王高尾駅に着きました。歩数1万6000歩、距離9kmの「新春の高尾山薬王院&高尾山へ」でした。



このコースは2年前の2022年1月に、青松さんに「高尾山からの景色を見て欲しい」と思い計画しました。ところが新型コロナウイルス感染第6波で中止。青松さんは、2020年1月25日の「稲荷山コースで高尾山へ」に参加、山頂まではしっかりと歩きましたが、大分疲れているようでした。「今度はケーブルカー利用で高尾山へ」と思っていたのですが、昨年1月10日に78歳で亡くなってしまいました。一周忌のこの日に青松さんを偲んで「新春の高尾山薬王院&高尾山へ」を行いました。

(いちむら記)